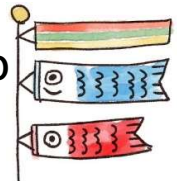


こなほんしってる?

2020 No.1020

5月号



だざいふしみんとしょかん・すくすく号 ☎921-4646 Fax921-4896
太宰府市民図書館ホームページアドレス <http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

《ティーンズから》

※【 】内の記号は分類番号です。読みたい本が見つからないときは、カウンターの人にきいてね。リクエスト（予約）もできます。

☆今月のおすすめ! ☆

♠ ぼくらの中の「トラウマ」

青木 省三/著 筑摩書房（ちくまプリマー新書）【Y146】

トラウマとは、人生の大変な出来事に対する心のいたみのことです。人はみな、大なり小なりトラウマを抱えながら生きています。この本では、少しずつやわらげたり、トラウマを抱えている人への声掛けの方法を知ることができます。今後のあなたの人生にきっと役立つ一冊です。（朋）

♠ 雷のあとに

中山 聖子/作 岡本 よしろう/絵 文研出版 【Nナカ】

相手のことを思う気持ちのすれ違いから、うまくいかない家族との関係。その中で、心のよりどころとなるノルおじさんの存在。小学5年生の少女 睦子が成長していく中で、人と人とのつながりの大切さを得ていく姿を描いた物語。（円）

♠ アリババの猫がきいている

新藤 悦子/作 佐竹 美保/絵 ポプラ社 【Nシン】

言語学者のアリババさんの猫シャイフは、人の言葉がわかる不思議な猫です。でもあるとき、アリババさんが出張に出かけるので、アリババさんの友人の〈ひらげごま〉店主、石塚さんに預けられます。ある夜シャイフが部屋にいますと、どこからか声が聞こえてきます。それは実はモノたちの声で……。 (桃)

♠ 湊町の寅吉

藤村 沙希/作 Minoru/絵 学研プラス 【Nフジ】

時は江戸、たくさんの物を運ぶのは、もっぱら船に頼っていた時代。大きな廻船問屋の息子である寅吉は、質屋との取り引きで、湊祭りの舞台で子ども芝居をすることになった。しかも人を笑わせるという条件付き！ 弟の文助も巻き込んで迎えた本番当日。芝居は成功するのだろうか？ (優)

♠ 十歳、ぼくは突然「敵」とよばれた

アンドレア・ウォーレン/著 もりうち すみこ/訳 汐文社 【334】

野球が好きな日系二世の少年、ノーマン・ミネタ。ノーマンが10歳の時、日本軍が真珠湾を攻撃し、この日を境にノーマンの暮らしは一変することになる。ノーマンたち日系人に向けられる「敵意」、そして収容所での生活。政治家となったノーマンが、第二次世界大戦中の自身の体験を語る。(紀)

♠ 天邪鬼な皇子と唐の黒猫

渡辺 仙州/作 ポプラ社 【Nワタ】

天皇の息子、定省のもとで暮らすことになった、中国生まれの黒猫には秘密があった。実は人の言葉が話せるのだ。人語をつかうことがばれるとろくなことにならないのは分かっているが、今はためらっている場合ではない。「おい、定省。話をきけ」定省の反応は・・・？ 平安時代に実在した天皇が日記に書き残した猫の物語です。(基)

♠ 明日をさがす旅

アラン・グラッツ/作 さくま ゆみこ/訳 福音館書店 【93グラ】

この物語の3人の主人公は、故郷を脱出しようとしています。1939年、ヨーゼフはナチスドイツの迫害から逃れるために。1994年、イザベルは飢餓のためキューバからアメリカへ。2015年、マフムードは戦争のためシリアからヨーロッパへ。命の危険を伴う過酷な道のりです。3人はそれぞれの行先にたどり着くことができるのでしょうか。(み)

☆他にも あるよ! ☆

♠ うちの弟、どうしたらいい?

エリナー・クライマー/作 小宮 由/訳 岩波書店 【93クラ】

♠ 鉄人講師が明かす三羽邦美の漢文ルール

三羽 邦美/著 PHP研究所 【Y820】

♠ 朔と新

いとう みく/著 講談社 【YNイト】

♠ 統計学をめぐる散歩道

石黒 真木夫/著 岩波書店（岩波ジュニア新書）【Y417】